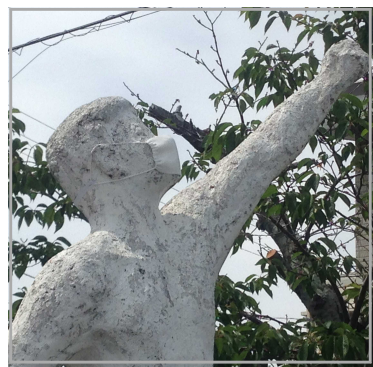


変わらないもの 5月29日

久しぶりに始業を告げるチャイムが校舎内に鳴り渡りました。
25日月曜日、2分の1全校集会(分散登校のため)でのプレゼンテーション。
スライド冒頭の「みなさんを待っていましたよ!」という言葉は、
作成しているうちに、自然にわき起こってきた感情でした。

ステイ・ホームが続いた期間。
学校HPからの様々な課題やメッセージ、
家庭宅配のわずかな瞬間に声かけする一言に、
先生方もめいばいに思いを込めて、
生徒たちに伝えようと努力を続けた一ヶ月余りでした。



再開後の校内では、全員がマスク姿。
表情を読み取ることはコロナの前より難しくなりましたが、
それでも、すぐ目の前に動き回る生徒たちがいることほど、
学校にふさわしい風景はありません。

今、「新しい生活様式」は、学校現場にも求められています。
例えば、ソーシャル・ディスタンスにも、一人一人の意識の変容と訓練が必要で、
この先の授業や給食、そして行事や部活動のあり方には、
これまでにない発想や工夫が不可欠となり、学校生活は様変わりしていくでしょう。

再開日の朝、「大志の像」にもマスクを着けてもらいました。
昭和40年(1965年)に完成して以来55年間、
生徒たちの登下校を眺め続けてきた津田中の象徴。
突然のマスクに、一番驚いているのは、当人に違いありません。

そんな現状を踏まえ、集会のプレゼンテーションでは、
たとえ時代や生活様式が変わっても、
「大切なものは変わらない。」ということを、
生徒の皆さんに考えてもらいました。



マスクの下にうまれる笑顔を
大切に共有して。【明朗】
これまでより離れている分だけ
互いを思いやる気持ちを持って。【感謝】
「おはよう」から始まる毎日を
あせらずにこつこつと重ねる。【勤勉】



3年教室

2000年



2020年

【校訓】の精神は、コロナの時代にも決して色褪せることはありません。

学校長